

第4回4者協議閣僚級会合議長サマリー

平成25年7月25日

1 2013年7月25日、パレスチナ自治区ジェリコにて「平和と繁栄の回廊」構想（以下、本構想）の第4回4者協議閣僚級会合が開催され、岸田外相、シャローム・イスラエル地域開発相、ラマダン・パレスチナ計画相、マジャーリ・ヨルダン内相の4閣僚が出席した。

2 参加者は、「二国家解決」に資する、雇用創出を通じた持続可能で自立したパレスチナ経済の発展を後押しする本構想に対する強力なコミットメントを再確認した。

3 参加者は、本構想が、ヨルダン川渓谷における地域協力を通じて、地域の繁栄を指向するものであることを再確認した。

4 参加者は、パレスチナ人の生活状況を改善し和平プロセスを推進させる緊急の必要性を認識しつつ、実質的な改善をもたらす本構想の重要性を強調した。また、参加者は、自立し持続可能なパレスチナ経済の実現にとって重要な要素である民間セクターの発展に向け、本構想の重要性を指摘した。

5 参加者は、本構想の旗艦事業であるジェリコ農産加工団地（以下、JAIP）が目覚ましい進展を遂げたことを認識し、参加者間の協力がこの進展を導いたことを高く評価した。また、参加者は、JAIPがパレスチナの民間主導の経済成長を一層後押しするものであるとの確信を表明するとともに、JAIPへの第三国及び他の地域からの投資を期待した。

6 参加者は、JAIPの未解決の課題に迅速に取り組むため、参加者間の協力を加速する決意を繰り返した。この関連で、参加者は、ビジネス環境の向上や投資を促進するためのインフラ整備、JAIP関連物品の円滑な移動及びアレンビー（キング・フセイン）橋への迅速なアクセスと通行の確保等、JAIPが必要とする基本的条件を満たすための努力を一層促進していくことを再確認した。

7 JAIPの成功裡の進展に基づき、参加者は、本構想の更なる具体化のため協力を継続していく意思を表明した。また、参加者は、2006年にJICAが策定した「ジェリコ地域開発計画調査」等に基づき、新しい分野の協力を特定することを決定した。本件は、引き続き4者協議事務レベル会合で議論される。

（了）